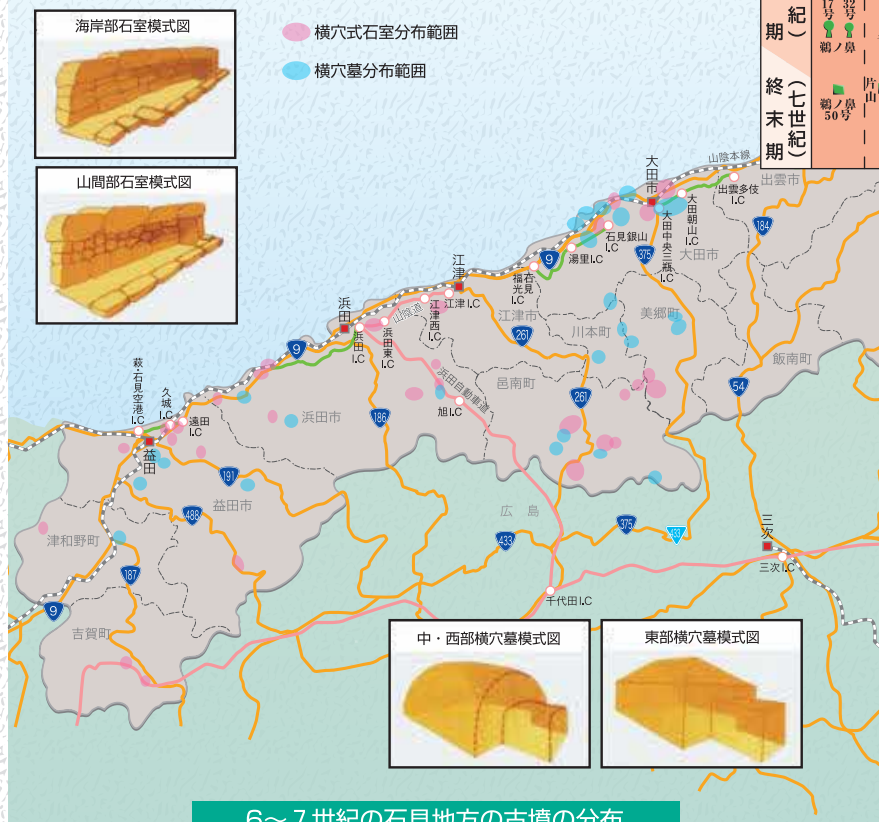


石見の古墳

石見地域では

4世紀初め頃から古墳が造り始められ、四塚山1号墳(消滅、益田市)では三角縁神獣鏡が発見されています。その後、石見西部を中心に6世紀前半まで大型の前方後円墳が造られます。6世紀後半になると小地域ごとに横穴式石室を持つ古墳が造られるようになります。これらの中には、高野山古墳群(江津市)、やつおもて古墳群(浜田市)、鶴ノ鼻古墳群(益田市)のような数十基からなる古墳群もあります。一方、大田市や邑智郡、益田市周辺などでは、横穴墓が造られています。7世紀になると横穴式石室の数は大幅に減少し、片山古墳(浜田市)などがわずかに確認されています。



時期	石見		
	西部	中部	東部
前(四世紀)	四塚山 大元1号		中山1号
中(五世紀)	スクモ塚	周布	
後(六世紀)	小丸山 3号 鶴ノ鼻 50号	めんつおそ ろ 青山	明神 野伏原
終末期(七世紀)		片山	空山

石見の古墳

おおもとこふん

◆大元古墳◆ 石見最古の大型前方後円墳

国指定

益田市遠田町大元

前方後円墳と円墳で構成される古墳群で、1号墳は全長85mの石見最大の古墳です。また、石見で最初に造られた前方後円墳で、大和政権とつながりを持ち益田に君臨した首長の墓と考えられます。



JR 益田駅からバス20分「中遠田下車」
徒歩20分



すくもづか こふん

◆スクモ塚古墳◆ 石見を代表する謎の大型古墳

国指定

益田市久城町須久茂塚

大元1号墳の次に造られたと考えられる益田の首長墓です。

全長約100mの前方後円墳という見方と、造出しの付いた円墳と方墳が並んでいるという見方があります。古墳近くには駐車場があり、夏には古代ハスも見ることができます。



JR 益田駅からバス20分「スクモ塚」
下車徒歩3分



こまるやまこふん

◆小丸山古墳◆ 益田平野を見わたす前方後円墳

市指定

益田市乙吉町

全長66mの前方後円墳です。鏡や馬鐙、鈴杏葉(山陰で初)などの馬具が出土しています。現在、公園として分かり易く整備されています。



鈴杏葉(すずぎょうよう)



JR 益田駅からバス10分「今市下車」
徒歩10分

石見の古墳

うのはなこふんぐん

◆鵜ノ鼻古墳群◆ 石見最大の群集墳

県指定

益田市遠田町下遠田

日本海に突き出た台地の上に横穴式石室を持った古墳がたくさん造られています。

以前は50基以上もあった大古墳群で、現在は全長約30mの前方後円墳など一部が保存されています。



JR 石見津田駅下車 徒歩15分



すふこふん

◆周布古墳◆ 先進地域周布の首長墓

国指定

浜田市治和町三宅

石見中央部最大の前方後円墳で、全長76m、後円部の高さは約7mもあります。また、発掘調査によって古墳の周りに幅約7mの溝が巡っていることが分かっています。古くから知られた古墳で「おんくろ」「ひさご塚」などの別名があります。

周布古墳の周辺では、県内最古の横穴式石室を持つめんぐろ古墳や、石見で最初に須恵器が焼かれた日脚遺跡などほかにも重要な遺跡が確認されています。



JR 周布駅下車 徒歩15分



かたやま こふん

◆片山古墳◆ 子孫は寺院を建立か？ 市指定

浜田市下府町片山

奈良時代に石見国府が置かれたと考えられている浜田市下府に造られた古墳で、明治時代にイギリス人の考古学者ガウランドが調査を行っています。石見地方では最も新しい時期に造られた終末期古墳で、近くにある下府廃寺の建立者との関係が注目されています。



JR 下府駅下車 徒歩25分



たかのやまこふんぐん

◆高野山古墳群◆ 日本海の眺めは最高

市指定

江津市二宮町・千田町・敬川町

標高約280mの高野山を中心に40基以上の古墳が造られています。ほとんどが直径10m前後の小型円墳ですが、高野山火塚には全長約7mの横穴式石室があります。このほか空山1号墳は市の史跡に指定されています。



JR 江津駅から車15分



のぶしばら こふん

◆野伏原古墳◆ 江の川上流を支配した豪族の墓

町指定

邑南町雪田

石見山間部屈指の規模の横穴式石室を持つ古墳で、県内唯一の三累環頭大刀が出土しています。現在大刀は、邑南町郷土館に保管されています。



JR 口羽駅から車20分

ねんのきだによこあなくん

◆榎ノ木横穴群◆ 公園になった横穴墓群

大田市仁摩町

安養寺古墳の実大模型と併せて仁摩健康公園古墳ゾーンとして整備されています。



みょうじん こふん

◆明神古墳◆ 代官も気になった

県指定

大田市仁摩町仁万

仁万平野北東の砂山の上にある直径約20mの円墳です。発掘調査により石見地域最大の横穴式石室と家形石棺、金銅装円頭大刀や銅鏡など優れた副葬品が、多数出土しました。江戸時代に石見銀山の代官が発掘した記録が残っています。



JR 仁万駅下車 徒歩15分

